

平成 18 年（2006 年）12 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（１日目）

平成 18 年 12 月 11 日（月）

割当時間(答弁を除く) $\left\{ \begin{array}{ll} \text{自民・無所属連合} & 85 \text{ 分} \\ \text{公 明 党} & 35 \text{ 分} \end{array} \right.$

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	金 城 徹 (自民・無所属 連合)	1 市長の重要 施策について	知事選の総括と市長見解 日本全体の面積に占める沖縄県の県土はわず かである。しかしながら、戦後61年が経過するも 米軍基地は、全国の米軍専用施設の75%が今なお この狭い県土に集中する現状である 一方において、全国平均の2倍の高い失業率や 県民の所得が全国最下位という状況は、4度にわ たる振興計画にもかかわらず沖縄県経済の自立 発展という県民の願いは、いまだ達成されてい ない 今回の県知事選挙は、この基地問題解決と県経 済をいかに自立、発展させるかということが大き な争点となった選挙であった 以下について市長の見解を問う (1) 新知事は、普天間飛行場の危険除去を図る 上からも3年以内に閉鎖をさせると公約し たが、これについて見解を伺う (2) 久間防衛庁長官は、普天間飛行場は3年で の閉鎖はできないと断言するが、これについ て見解を伺う (3) 世論調査によれば、約7割の県民が政府の 進める普天間飛行場移設案に反対をし、また 稲嶺前知事も政府案の強行に反対の意を唱 えていたところであるが、沖縄県はこれから 日本政府との間で難しい交渉をしていくこ とになると思われるが、これについて市長の 見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) 基地の返還と跡地利用について県内の米軍基地、嘉手納以南の基地はパッケージで返還されることが日米政府で合意されている。これは基地行政の後退であると思うが見解を伺う (5) パッケージで返還となると返還跡地利用計画はそれぞれが県内自治体で競い合う状況になる。そのような中で那覇軍港の跡地利用は県内全体の地域間競争とバランス、それから那覇市全域のまちづくりなどを見据えた戦略的視点が求められるが、見解を伺う (6) 新知事は、公約の中で観光入域客を一千万人に増やしIT産業等、先端産業を誘致し雇用の拡大を図り、特に若年者失業率引き下げ全国平均並みまで持っていくとしていたが、その課題と展望について見解を伺う
		2 文化財行政について	御茶屋御殿の復元について 御茶屋御殿の創建は、記録によれば1677年とされる 首里城が国立公園として整備をされ1992年に正殿が復元された後、復元事業は正殿以外の建造物に及び、外交文化を司った御茶屋御殿も復元されるべき建造物として候補にあがるようになった 首里城や園比屋武御嶽や識名園など遺構が残っているものについては琉球政府の文化財に指定され、復帰後に国の史跡として保存された。2000年にこれらは、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録され保護されることになった 同年から文部科学省文化庁の補助を受けて、沖縄県埋蔵文化センターによる遺構確認調査が実施され、現在、御茶屋御殿跡遺構の確認が行われている 復元の必要性としては、中国皇帝の使者、冊封使を首里城で正式会見し御茶屋御殿で饗応接待するなど首里城と一体となって使われ、沖縄文化

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 総務行政について	発祥の地でもある。それから琉球国王は、各地から芸に秀でたものを御茶屋御殿に集め奨励し広く国民に鑑賞させたことなどがあげられる 復元の可能性としては、敷地が現存していること、建物は沖縄戦で破壊されたが礎石等が元どおり残っている。建物の構造については、戦前に調査された細かな記録があり建物の内外の写真が多数残っていることなどがあげられる そこで市長に伺うが、御茶屋御殿を国の文化財として指定しその復元を国に求めていくべきと考えるが、その現状と課題について見解を求める 防災行政について伺う (1) 市職員及び市民に対して地域防災計画及び防災教育の周知徹底はどのようになっているのか ① 阪神・淡路大震災や新潟県中越地震では、本部長となるべき首長が庁舎にいない事例があったが、このような場合自衛隊への派遣要請はどのようになされるか ② 災害時の職員配備体制はどうなっているのか (2) 社会福祉施設の安全対策について説明せよ (3) 観光都市那覇の観光客や外国人の安全対策について (4) ボランティアの育成、支援対策について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 経済行政について	トランジットマイル本格実施に向けて (1) 進捗状況について説明を求める (2) 現時点での課題について伺う (3) 新交通システムの導入について見解を伺う
		5 建設行政について	電線類地中化事業への取り組みについて伺う 現在、市内における電線類地中化は、国道58号等、主に幹線道路で行われている。今後、市街地内の生活道路においても、安全な歩行空間の確保、都市景観、市街地の防災、地域活性化等を図るため、電線類地中化を進めるべきと考えるが、「交通安全事業統合補助制度」の活用等市街地内の生活道路における電線類地中化整備計画は、どうなっているのか
		6 経営企画行政について	(1) 新庁舎建設について ① 新庁舎の建設についての基本的な考え方はどうなっているのか伺う ② 新庁舎建設に向けての一連の経過を説明していただきたい ③ 新庁舎建設の今後の見通しはどうなっているのか。庁舎建設に向けてのスケジュールはどうなっているのか ④ 庁舎の防災拠点としての機能についての考え方について伺う (2) 「とまりん」について伺う ① 「とまりん再建計画」策定の進捗状況について ② 売却交渉はどこと行うのか ③ 売却予定額は幾らか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 都市計画行政について	(3) 組織の見直しについて 市民サービスの向上の観点から対市民業務部門の拡充、内部の管理部門の縮小等を含めた組織の見直しを図るべきと考えるが、市長の見解を伺う (1) 指名競争入札について ① 那覇市の公共工事の発注方針について ② 指名競争入札の業者選定方法について説明せよ ③ 今後の指名競争入札のあり方はどうあるべきか説明願いたい ④ 制限付一般競争入札の概要について説明していただきたい ⑤ 石嶺市営住宅第1期建替工事（建築・1工区）の仮契約を締結した後に契約を辞退とのことであるが、その理由を伺いたい (2) モノレールの延長について ① モノレールの延長に向けて県及び関係機関との協議はどのように進展しているのか、進捗状況を伺う ② ルート選定に当たっては第一に市民の利便性、採算性を最大限重視すべしと考えるが当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 18 年 12 月 11 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	宮 里 光 雄 (自民・無所属 連合)	1 那覇市の公有地の管理について	今回の末吉公園内の墳墓の在する市有地に係る所有権移転訴訟の経緯と、同公園を含む墓地や墳墓の取得状況において、同様の事例がないか伺う
		2 那覇市普通財産の管理について	(1) 那覇市市有地の賃料滞納者への契約解除と未払い賃料の支払いを求めた訴えの提起に係る議案が本定例会に提案されているが、その概要の説明を求める (2) 那覇市の普通財産の土地面積は幾らあり、そのうち現在賃貸している面積は幾らか伺う
		3 環境行政について	(1) 平成 18 年 4 月 1 日に本格稼動した「那覇市・南風原町環境施設組合」のごみ処理施設へのごみ搬入の実績は、どのように推移しているか伺う (2) 那覇市と南風原町のごみ減量の実績は、どのように推移しているのか伺う
		4 下水道料金について	去る 10 月 25 日の新聞報道によると、本県下水道事業の地方債残高が 189 億円あり、今後は健全経営に向けた料金の改定等に取り組みたいとのコメントがあった 県の料金改定が実施された場合の、本市下水道事業に与える影響について伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、上下水道事業管理者、関係部長

代表質問（１日目） 平成 18 年 12 月 11 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	永 山 盛 廣 (自民・無所属 連合)	1 飲酒運転撲滅について 2 福祉行政について	飲酒運転撲滅に係る那覇市の取り組みについて 沖縄県は、交通死亡事故に占める飲酒絡みの割合が11年連続で全国最悪という不名誉な記録が続いている。那覇市議会は、先の9月定例会において全会一致で飲酒運転撲滅に関する宣言決議を行った。飲酒運転は犯罪行為であり、絶対にあってはならない。そこで次のことを伺う (1) 飲酒運転撲滅にかかる那覇市の取り組みを伺う (2) 市職員による飲酒運転について、どのような対策を取っているか (3) 市職員に対してどんな指導及び対応をしているか (4) 去る11月10日頃、本市の学校に勤務する教員が酒気帯び運転により、懲戒免職されたとの新聞報道があったが、その経過及び概要はどうなっているのか (5) これまで、教育委員会は、教職員の飲酒運転についてどのように指導してきたか (6) 教育委員会は、今回の懲戒処分を受け、今後、二度とこのような不祥事を起こさないために、どのように取り組んでいるか 高齢者の健康増進の取り組みについて 本市では、「健康なは21」を策定し、市をあげて生活習慣病対策に取り組んでいるところだが、高齢者の健康対策もますます重要となってきた 特に、本市は高齢者の一人暮らし世帯が多いと聞いている。高齢者が生き生きと健康で楽しい人生を暮らしていけるような対策が喫緊の課題ではないかと考えている。そこで、次のことを伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 交通行政について	(1) 高齢者を対象として実施している健康づくりや生きがい対策はどのようなものがあるか。また、実施の効果は出ているのか (2) 健康増進を図るには身体の面からと心の面からの両方からの健康づくりが大切だと考える。高齢者が、家に閉じこもることなく、那覇の街を進んで出歩き、見て、食べて遊ぶことによって健康増進、介護予防、街の活性化が図られると考える 高齢者の外出の機会を誘導し、創出するために公共施設の割引制度を導入する考えはないか コミュニティバスの実証実験について 次のことについて何う (1) コミュニティバス実証実験を行う目的は何か (2) 今回の真和志地域と小禄地域でのコミュニティバス実証実験はどのような経緯で行ったのか。また、ルートはどのように設定したか (3) 今回の実証実験にあたり市民へどのように広報周知を行ってきたか。また、2ルートの現状を問う (4) 実験後の本格運行についてどう考えるか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 教育行政について	いじめ問題について 昨今、マスコミ等において、いじめ問題が取りざたされているが、子供たちを追い込むような深刻ないじめがあるのか。那覇市におけるいじめの実態と対応、予防策等について伺う (1) 那覇市における平成18年のいじめの件数はどのようなになっているか。また、その特徴はどうか (2) 那覇市におけるいじめ未然防止対策はどのようなになっているか (3) いじめが起きたときの市教委の対応についての説明を求める (4) 今後、いじめをなくすために、どのような取り組みが必要か
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 18 年 12 月 11 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	喜舎場 盛三 (公 明 党)	1 障害者施策について 2 保育行政について	(1) 障害者自立支援法について ① 障害者自立支援法の理念を伺う ② 障害福祉計画を18年度中に策定しなければならないが、その取り組みを伺う ③ 同法の大きな柱である障害者の就労支援の今までの取り組みとこれからの取り組みを伺う ④ 地域生活支援事業の取り組みを伺う (2) 障害者雇用について 本市における障害者雇用の状況と本市の取り組みについて伺う (3) 障害児福祉について 知的障害のある中学生、高校生を預かる事業はどのようなものがあるか伺う 認可外保育所について (1) 認可外保育所の子供たちに対し現在実施されている市の支援の内容を伺う (2) その支援が大きく変化してきた年から今までの推移の状況を伺う (3) 認可外保育所の保護者の方々から支援の更なる拡大、例えば給食の支援等を要望する声が多いが、それに対して本市はどのように取り組んでいくのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 保護行政について	生活保護について (1) 今回の補正予算で生活保護費が12億円計上されているがその主な要因は何か、そして市の負担分は幾らか (2) 今回どのような世帯が増加したのか世帯の内訳を伺う (3) 保護費が膨らんでいくことに対してどのように取り組んでいるのか
		4 市民相談について	(1) 本市における市民の法律相談の現状はどうなっているのか (2) 法テラスが10月2日から開始されているがその意義と内容を伺う (3) 法テラスと本市の市民相談の連携はどうなっているのか
		5 子ども基金について	子ども基金が創設された経緯とその運用について
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長